

2021年5月27日  
SBパワー株式会社  
ソフトバンク株式会社  
ヤフー株式会社

## SBパワーとソフトバンクが、 ヤフーの「白河データセンター」にRE100 準拠の 実質再生可能エネルギーを提供開始

ソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）の子会社で小売電気事業を行うSBパワー株式会社（以下「SBパワー」）とソフトバンクは、2021年5月からヤフー株式会社（以下「ヤフー」）の「白河データセンター」に実質再生可能エネルギーの電力サービスの提供を開始したことをお知らせします。

ヤフーの親会社であるZホールディングス株式会社は、国際イニシアチブ「RE100」<sup>※1</sup>の早期加盟を目指しています。また、ヤフーにおいては、2023年度までに事業活動で使用する電力の全てを再生可能エネルギーにする目標を2021年1月に発表しました<sup>※2</sup>。ヤフーが事業活動で使用する電力の95%がデータセンターでの使用によるものです。SBパワーは「RE100」に準拠した実質再生可能エネルギーの電力サービスをヤフーに提供することで、CO2排出量を削減して環境負荷低減に貢献します。今回「白河データセンター」に供給する電力は、「トラッキング付きFIT非化石証書」などを活用します<sup>※3</sup>。

ソフトバンクはSDGs（持続可能な開発目標）の課題解決を重要な経営課題と捉え、最先端テクノロジーをベースとした事業活動を通して国際社会が掲げる社会課題の解決に取り組んでおり<sup>※4</sup>、事業活動で使用する電力などによる温室効果ガスの排出量を2030年までに実質ゼロにする「カーボンニュートラル2030宣言」を、2021年5月に発表しました<sup>※5</sup>。また、SBパワーは、環境負荷の少ない電力サービスの提供や独自のAI（人工知能）を生かした省エネサービスなど、エネルギーに関わるサービスの開発・提供を通して地球環境に貢献することを目指しています。今後、ソフトバンクはSBパワーと協力して、グループ企業だけでなく、さまざまな業界の法人のお客さまのSDGs推進や地球温暖化対策への取り組みを支援していきます。

SBパワーとソフトバンク、ヤフーは、今後も各社の知見やノウハウ、資産を最大限に活用し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 「RE100」は、国際環境NGOのThe Climate GroupとCDPによって運営される、企業の自然エネルギー100%を推進する国際ビジネスイニシアチブです。

※2 Yahoo! JAPAN、「2023年度100%再エネチャレンジ」を宣言

<https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2021/01/19a/>

※3 「非化石証書」とは、化石燃料を使用していない太陽光発電や水力発電などの「非化石電源」からつくられた電気環境価値を証書化したものです。今回使用する「トラッキング付きFIT非化石証書」とは、「非化石証書」の中でも再生可能エネルギー由来であるFIT電気環境価値を証書化し、さらに電源の発電方法や発電所所在地などの情報を付与（トラッキング）させたものです。お客さまへ供給する電気に、「トラッキング付きFIT非化石証書」を組み合わせることで、再生可能エネルギー由来の電力供給を実質的に実現します。

※4 ソフトバンクのSDGsの取り組みは、こちら（<https://www.softbank.jp/corp/sustainability/>）をご覧ください。

※5 2030年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル2030宣言」を発表

[https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2021/20210511\\_02/](https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2021/20210511_02/)

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。